

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 31 日

事業所名 レジリエンス・スポーツセンター 回答数:7名 回答率:100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・同室レッスンの際のメンバー調整など月ごとに部屋が変わり、飽きがないよう工夫している。	・予約担当をしてきて思ったのが、もっとキャンセル待ちを勧めた方がいいと思います。キャンセルが出た時にすぐにキャンセル待ちの方へ連絡ができる。いないときの方が空き状況や来そうな人を予想するのが大変。 →予約全般の効率がよくなるように、システムなど改善できるように対応していきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	・少ない職員ですごく頑張っていると思います。	・指導員不足 ・新年度から職員体制が厳しくなることが予想される(退職等で) →配置基準を満たした職員数ではありませんが、急遽の休みが出た場合サブの対応が難しいことある為、職員の配置方法については不測の事態に 対応できるよう配慮いたします。職員の募集も引き続き行っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	2	・エレベーター、階段の手すりあり	・ものが多い →不要な物や、古くなっている道具などを精査していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	・毎日清掃をしている 用具は拭いたり布地のものは洗濯したりしている ・利用者の特性に配慮した環境づくりを行っている。 ・業務分掌の担当によって変わりますが、現在の整備担当者のおかげで環境整備はだいぶ良くなっています。	物が多い気がするので、壊れている物や壊れそうなものに関しては撤去していてもいいのかも。 →引き続き担当を中心に職員全員道具チェックや清掃を行い、子どもたちが心地よく活動できる環境を整えていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	・様々な事をやり過ぎ！職員数も居ないのに！ ・レッスンの振り返りをチューター制度等で行っている。	・様々な事をやり過ぎ！職員数も居ないのに！ →スタッフ配置を工夫したり、職員の募集も引き続きしていきたいと考えています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	・アンケートやご意見等ミーティングで話し合いをしている。 ・改善が難しい部分もありますが、職員は一生けん命試行錯誤していると感じます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		自分は見ることがない。 →現在、既に第三者委員会を設置しており、苦情解決の助言役を担っていただいております。ただし、外部評価についてはまだ受けていないため、今後は実現していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月1研修 ・毎月多彩なテーマで職員研修を受けることができています ・研修の案内がくる。研修に参加できる。 いろいろな研修を主任が考えていると思います。 	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に支援計画の見直し ・アセスメントをしっかりと行っている。 ・児童と保護者と会う機会がどうしても少ないデイなので、もっと入った職員から情報をもらえると作成しやすくなると思います。 	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	支援計画を読み込んでいる。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで協力して支援している。 ・職員同士で振り返りをしっかりしていると思います。 	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスン前に過去の記録や実践を振り返りながら、お子さんに合った活動を提案できるよう試行錯誤している ・子どもが主体的に活動内容を選ぶ、固定化せれている様子ならこちらから提案する。 ・それぞれがアドバイスをもらったり、伝えたりと個人の意見だけでなく別の目線からも考える機会があつて固定化はされていないと思う。 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・集団レッスンの際には打ち合わせできている ・基本利用者とコーチ1対1だがサブコーチに留意点は伝える。 ・前回入った職員に話を聞いてから、レッスンに入る方が多いと感じています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	・チューター制度で行っている。 ・振り返りはしっかりやっているといます。	・時間がない時は簡略化してしまう場合がある →レッスン終了後にはメイン・サブコーチで内容について振り返りを行っています。レッスンの終了時間によっては次のレッスンが始まる場合があるので、時間通りにレッスンを開始・終了でき
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	担当者コメントに記入している。注意点は職員間で共有。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	・会議に行く前に対象児のレッスンに入ったり、他の職員から最近の様子をしっかりと聞いてから参加している。	・幼稚園、保育園をもっと入れるべき
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	3	わからない	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1	医療的ケア児童は在籍していない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		もっと関係機関と連携する必要がある →記録を元に会議などにて共通しています。また、移行支援シートも作成しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	過去に研修を受けたことがある	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	2	・サークルやスクール活動で、きょうだい児などと関りがある。 ・サークル活動を実施しており、発達障がい児のきょうだいやその他(健常児)などの参加を受付し交流する機会を作っている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	4	わかからい	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	常に振り替えりを行っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4		・過去に開催していたが最近はできていない →今後企画していければと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	保護者様に理解してもらいやすいよう一時間ほどかけて丁寧に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	毎月実施している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	月刊レジスポを毎月発行している SNSも更新できている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	半年に一回避難訓練、防犯訓練を実施している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	半年に一回避難訓練、防犯訓練を実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	事前にアセスメントシートに記入してもらっている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	保護者に確認している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・事案があった際には職員ミーティングで共有し対策を練っている	・アルバイトにも伝える必要ある →ヒヤリハット事例集を作成しているので共有します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2	・支援計画に明記すべき ・児童発達支援計画に記載はしていないが、契約の際に同意書で説明し、同意を得ています。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。